土壌汚染対策資料及び今後のスケジュール

資料1

【　経　緯　】

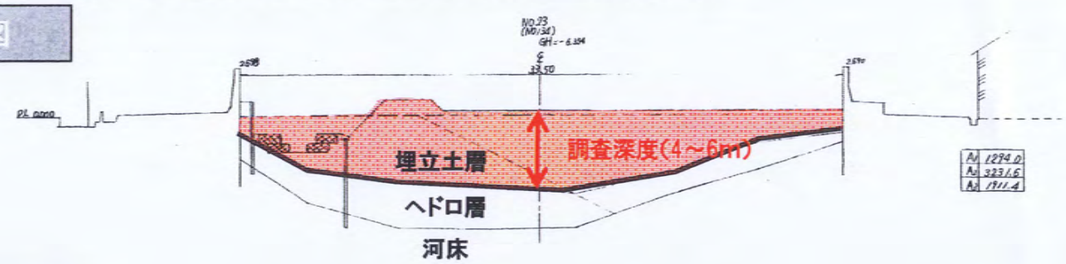
- H28年度の設計委託において、工事予定箇所の残土処分費の削減のため、処分場への搬出を計画していた。
  処分場では、受入れにあたり土壌成分分析が必要なことから設計委託の中で調査したところ、土壌汚染対策法の基準値を超える「鉛及びその化合物」がH・I地点にて検出された。（下図参照）

【 東京都環境局ヒアリング 】

- 本箇所はもともと河川であるため、土地の履歴上では汚染の恐れは確認されない。
  基準値を超えたのは河川を埋めた埋立土が原因と考えられため、調査範囲、深度、項目は以下のとおりとする。

◇調査範囲…　H・I地点を含むS53年度埋立工事範囲を10mメッシュで調査する。
　　(W34.0m×L325.0m＝約11,000㎡)
◇調査深度…　ヘドロ層までとする。（4m～6m程度）
　　ヘドロ層と埋立土の境が不明瞭の場合は別途判断
◇調査項目…「鉛及びその化合物」とし、溶出量及び含有量試験をする。

断面図



【　調査箇所及び費用　】

- 必要調査地点 約１３０箇所
- 調査費　１５０，０００千円
- 工期6～7か月間

【　今後のスケジュール　】

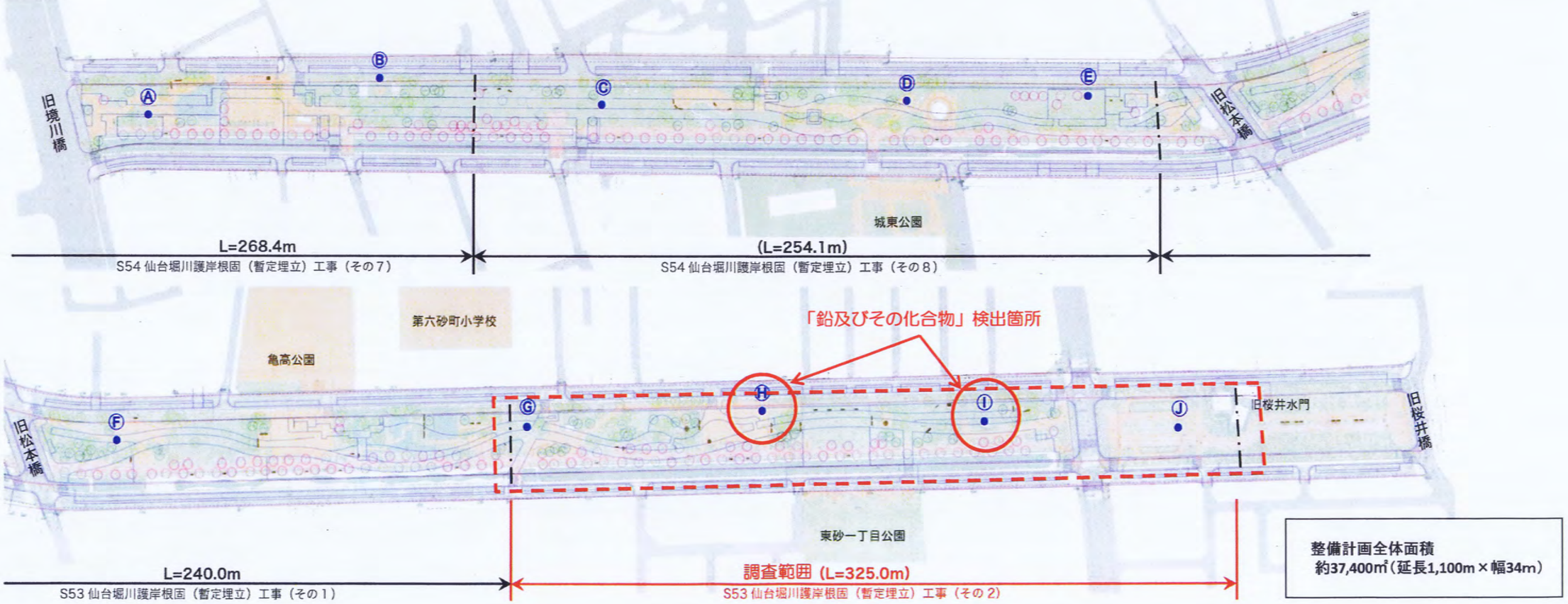
- 長期計画上は当初H29年度より工事の着工を予定していたが、工事はH30年度以降に先送りとする。

長期計画上のスケジュール　(年度)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
当　初	設計委託			工　事					
計画変更	設計委託			土壌汚染調査	工　事				

調査範囲

凡例（●：試掘調査 10 箇所、－・－：暫定埋立工事 工区境）



整備計画全体面積
約37,400㎡（延長1,100m×幅34m）

仙台堀川公園整備　陳情・要望・問合せ事項

資料 2

事業全体

・事業に反対、必要でない
・公園内の禁止事項をなくし、土の舗装を増やしてほしい
・桜並木を残してほしい
・地先の意見を聞いてほしい
・再度、説明会を開いてほしい
・現状維持で整備してほしい
・周知が遅い、もっと周知してほしい
・今回の意見を参考にしてほしい
・無電柱化は賛成だが、公園を削らないでほしい
・CIG 施策に反するのではないか

など 32 件

- 無電柱化に伴う道路拡幅による公園減少について、多くの意見を頂いていることから、修正案では両側道路に予定していた自転車走行空間を公園内の東側 1 箇所に振り替えることにより、公園減少を抑えた。
- 公園内に予定していた園路及び水路の幅員についても、それぞれ縮小することにより、緑地を確保する。
- 今後も、修正案を地元説明することで整備計画の理解と周知を進める。

公園編

・既存ゲートボール場を残してほしい
・土の広場、舗装を増やしてほしい
・公園が暗い
・健康遊具を残してほしい
・池や川の生き物を殺さないでほしい
・まっ平でなく、すこし起伏のある公園にしてほしい
・ジョギングをできるようにしてほしい
・ドッグランをつくってほしい
・池を残してほしい
・公園内の園路は自転車禁止にしてほしい
・人工的になりすぎないようにしてほしい
・ワンダフル広場は残してほしい
・公園内で歩行者と自転車を分離してほしい
・小さい子供などは、公園内の自転車通行を可としてほしい

など 28 件

- 既存施設（広場、カベ当て施設、ベンチ、健康遊具等）は、整備計画の中でも継承し新設する。
- 現況公園内水路については、道路拡幅に伴い雨水対策のため暗渠化せざるをえない。そのため、それに代わり新たに工業用水を水源とした水路をつくり、水遊びゾーンや生物に配慮した自然観察ゾーンといったコンセプトを持たせたエリアと親水性の高い水路をつくる。
- 園内舗装については、芝生による舗装や、舗装を施さない裸地部分を検討しており、ハード舗装を少なくした公園づくりとする。
- 園内の自転車通行に関しては、出入口に自転車が進入しにくい車止めなどの工夫をするとともに、スピードに関する注意喚起看板などを設置する。

樹木編

・桜は残してほしい
・象徴となる木は残してほしい
・花粉の出る樹木はやめてほしい
・キョウチクトウはいらない
・成熟した木々を切らないでほしい
・猛禽類や野鳥、昆虫がいるので伐採はしないでほしい
・大きな木だけでも残してほしい（夏場の日陰、生物保護）

など 19 件

- サクラ及びその他の高木に関しては、できる限りの残置を目指すものの、道路拡幅に伴う移植と伐採は必要となる。
- 象徴的な木や成熟した木等は、可能な限り移植とし、残置できるよう対応する。
- 花粉の出る樹木については、樹種選定時に十分配慮する。

水路編

・ペットも水遊びできる水路がほしい
・きれいな水路がほしい
・カルガモにもやさしい水路にしてほしい
・流れを感じる水路にしてほしい
・生物が多く生息している水路なので残してほしい

など８件

> ➢ 生物に配慮した自然観察ゾーンといったコンセプトを持ったエリアを確保し、生物が生息できる水路を計画する。
> ➢ カルガモなど水鳥も水路に訪れることができるよう、中洲や水面への離着水に配慮した設えをする。

道路編

・自転車走行空間は、交通が錯綜して危険である
・六砂小前に横断歩道を設置し、公園間口も広げてほしい
・車は一方通行にしてほしい
・道路工事は夜間もやるのか？
・車道が広がると違法駐車が増えるのではないか？
・信号機付の横断歩道を増やしてほしい
・自転車は公園内を通行してほしい
・子供や高齢者、障害者などは自転車走行空間を横断するのが危険では？
・清洲橋通りは信号待ちの自転車であふれている
・道路優先でなく、公園優先にならないか？
・道路拡幅は反対である
・公園を削ってまで道路を広げることはない
・道路拡幅による車のスピード抑制対策をお願いします
・通学路のため交通安全対策には万全を期してほしい
・路線バスやコミュニティバスを走らせてほしい

など 34 件

> ➢ 無電柱化に伴う道路拡幅による公園減少について、多くの意見を頂いている。修正案では両側道路に予定していた自転車走行空間を公園内へ振替、歩行者と自転車の錯綜解消のため、公園内にて分離する。
> ➢ 信号機や横断歩道、道路のスピード抑制に関しては、今後道路課にて検討する。

その他

・桜祭りはどうなるのか？
・工事中の動線をきちんと確保してほしい
・生態系へ配慮してほしい
・土俵は残してほしい
・壁あてによる騒音を緩和してほしい
・ラジオ体操用の放送施設を整備してほしい

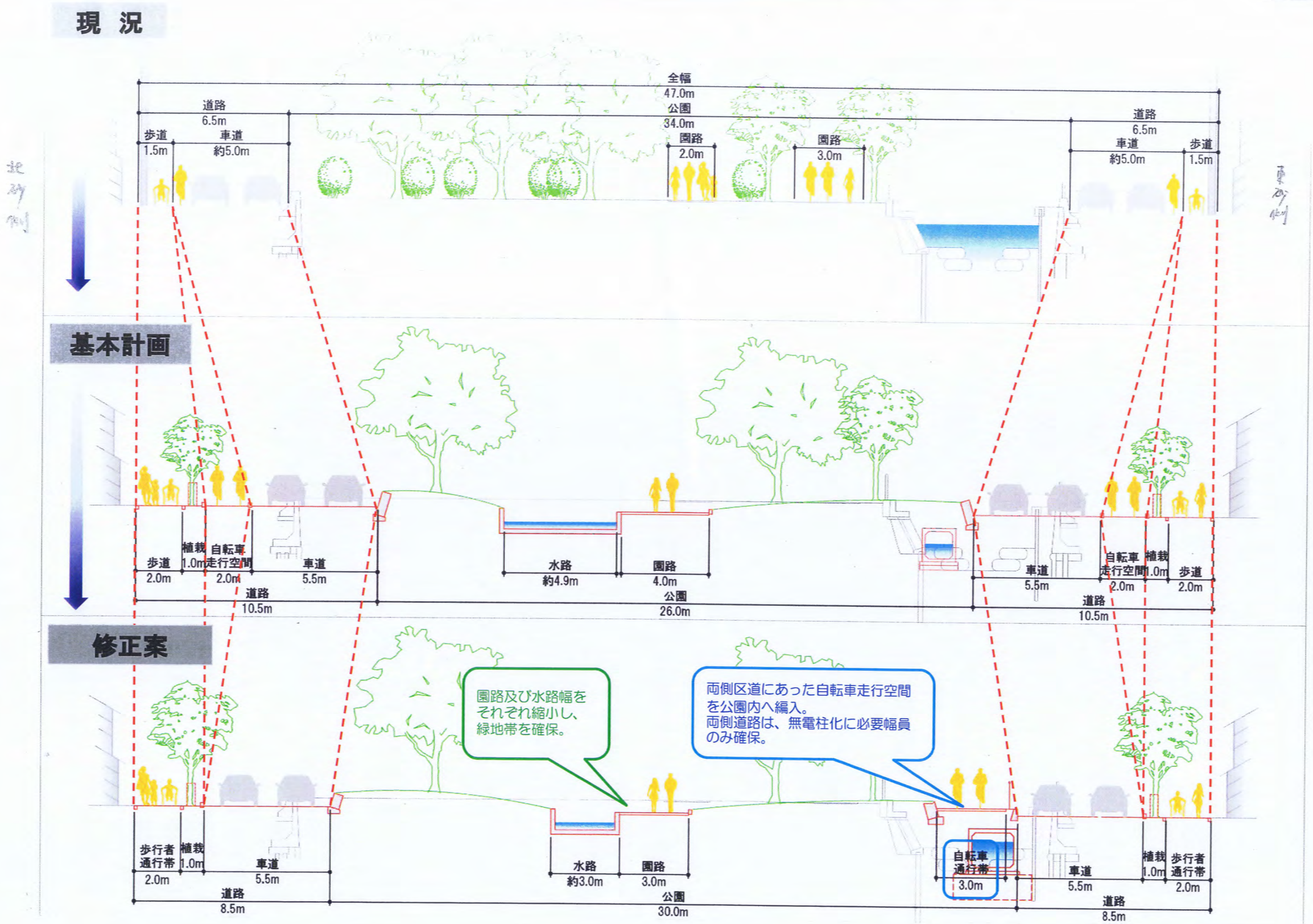
など 15 件

> ➢ 毎年行われている桜祭りについては、工区を分け、時期をずらしながら施工することにより、祭りの実施に支障が少なくする。
> ➢ 工事中の歩行者・自転車の動線は、工事進捗に伴い動線を切り替える必要が生じるが、確保しながら施工をする。

合計　136　件（H28.11.21 現在）
＊ 重複要望・意見を含む

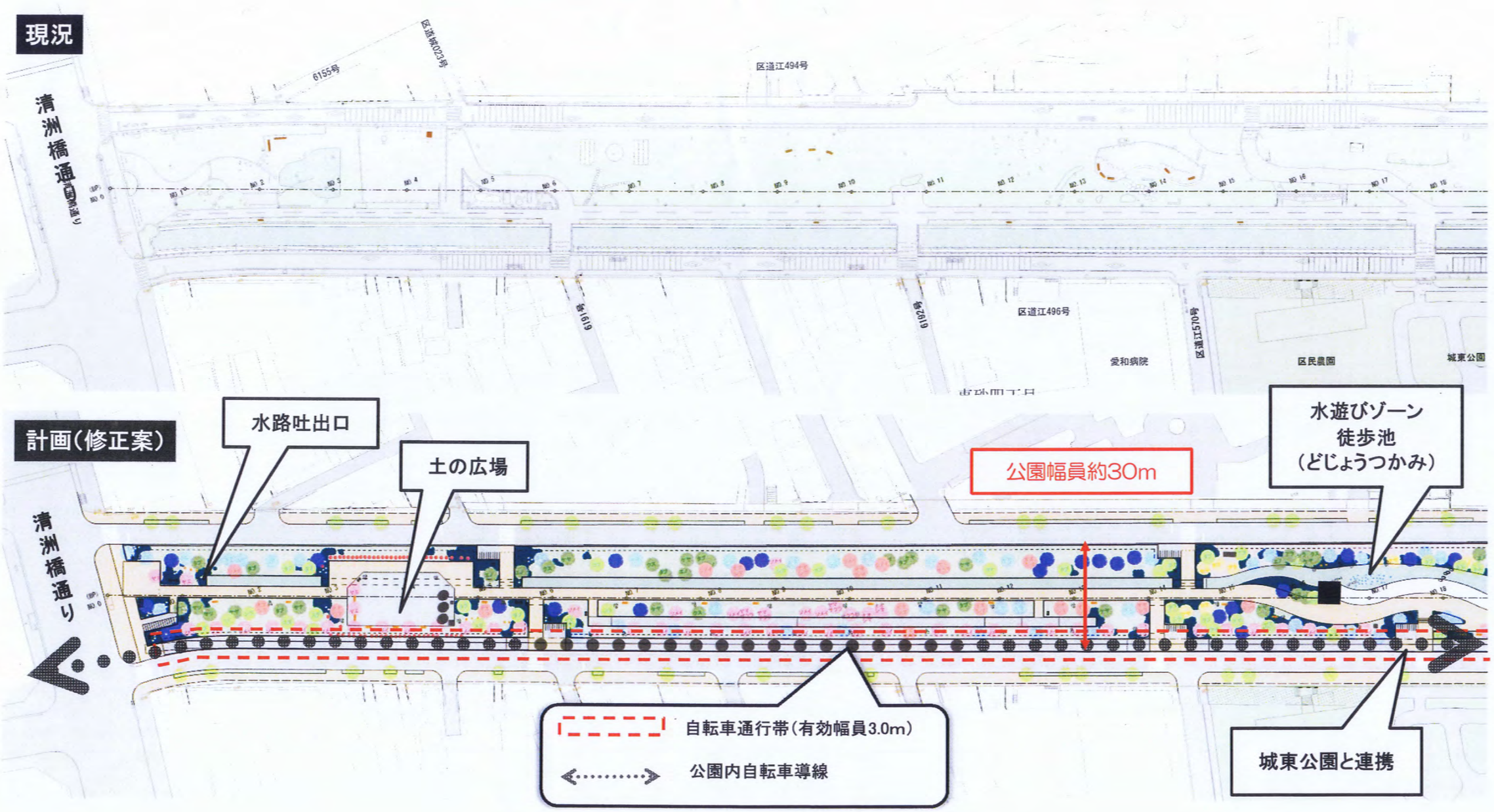
仙台堀川公園整備計画基本断面（修正案）

資料3

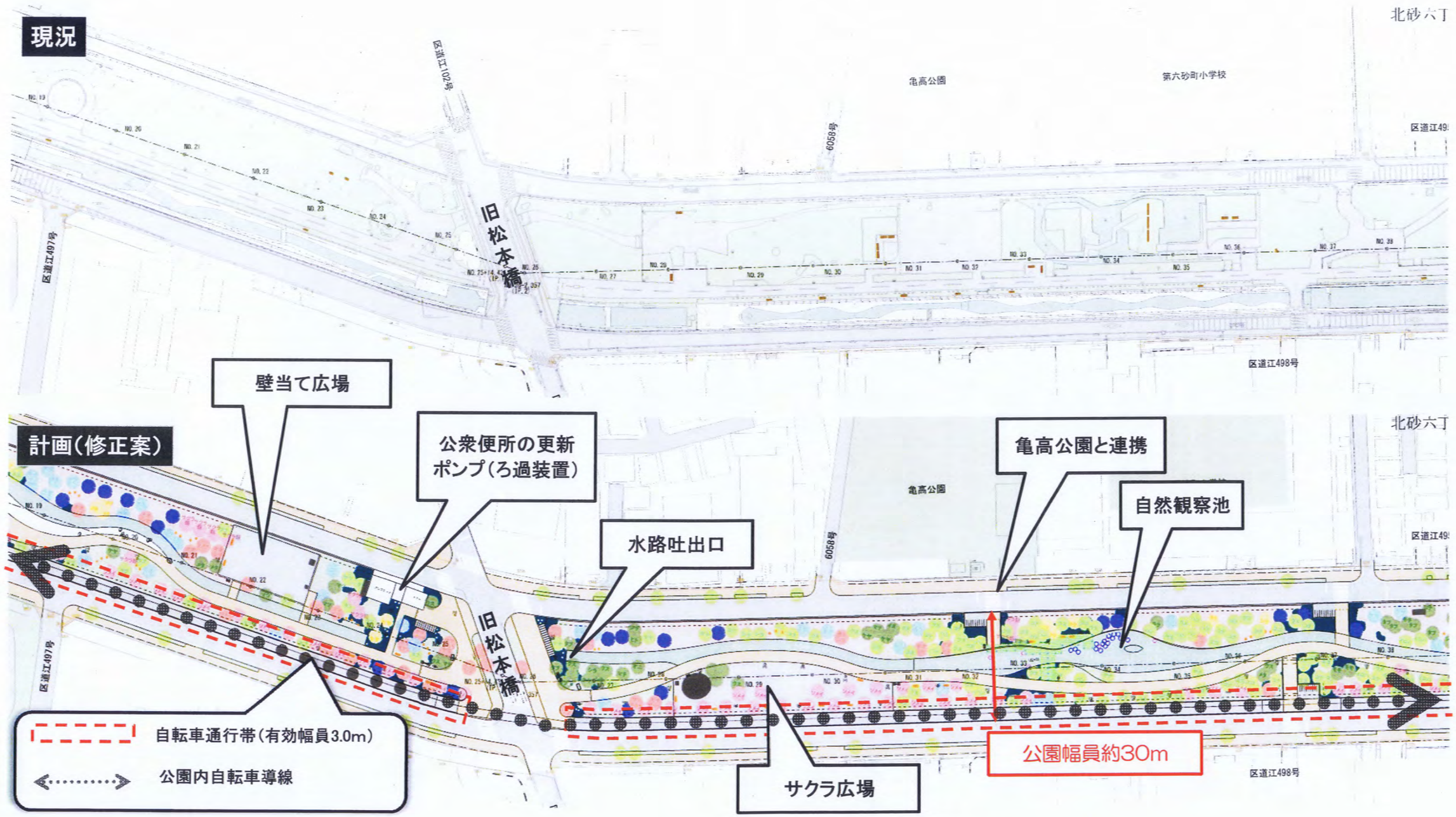


現況・計画比較平面図（修正案）－1/3

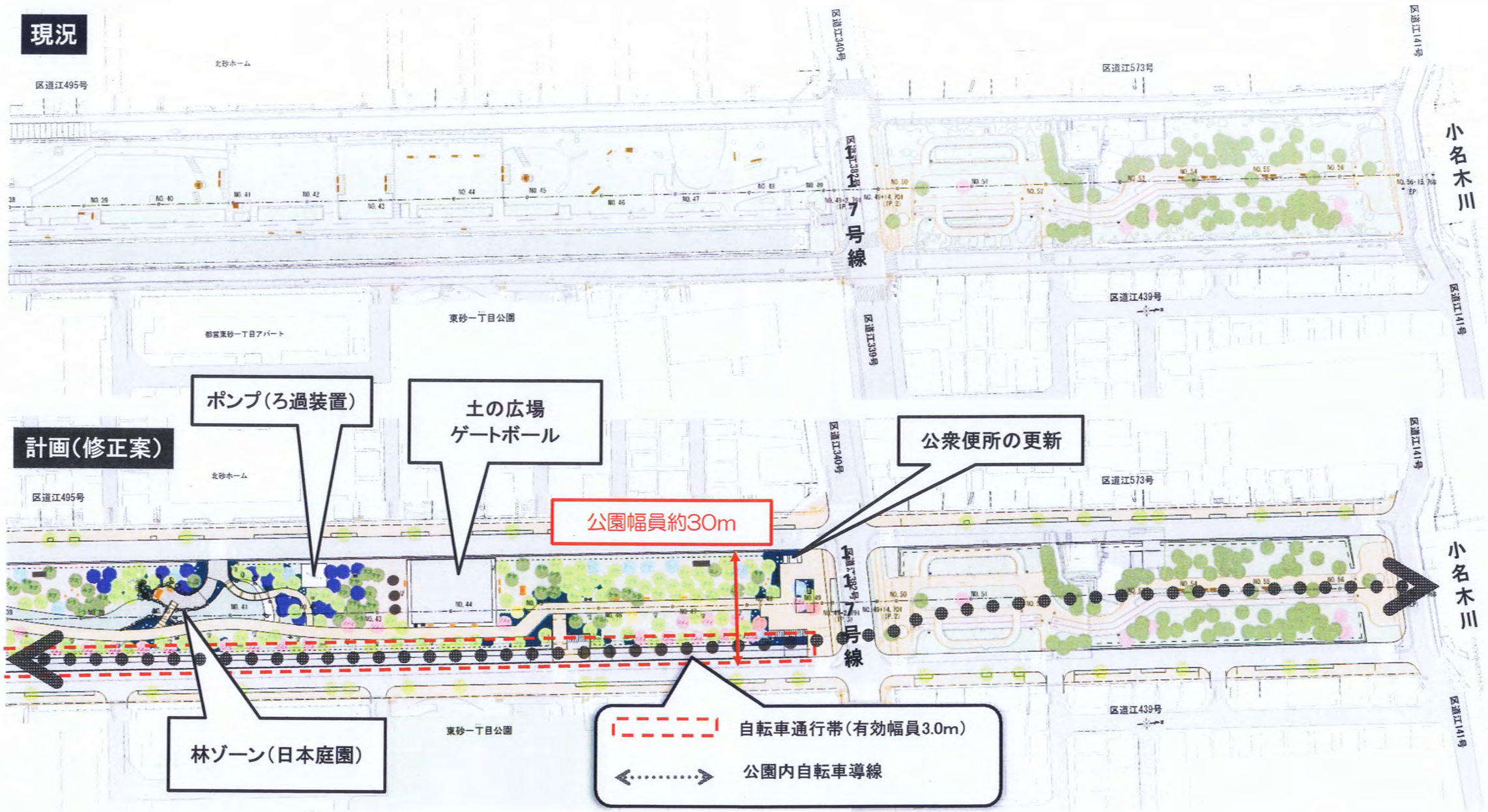
資料4



現況・計画比較平面図(修正案)ー2/3



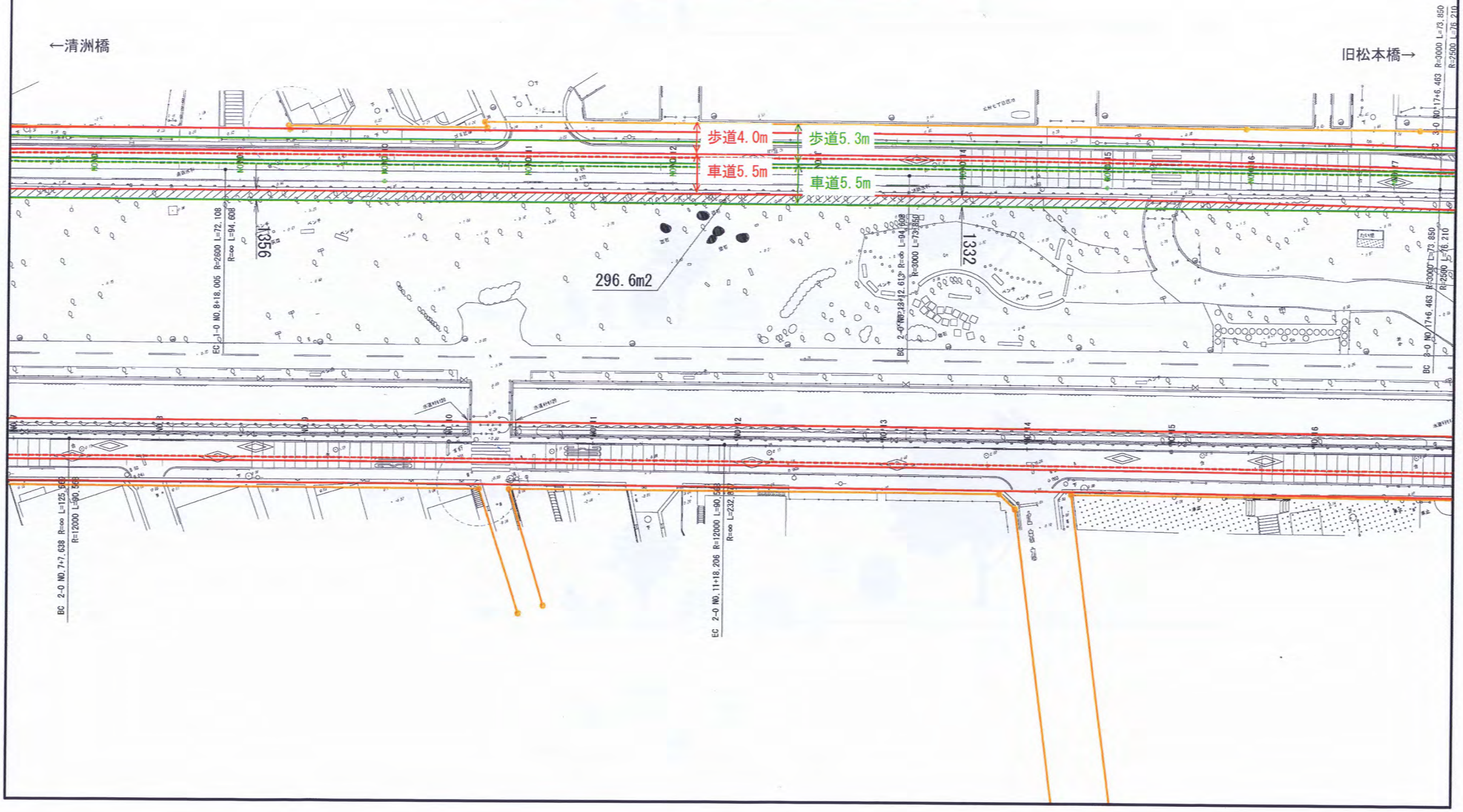
現況・計画比較平面図(修正案)ー3/3



資料５

ＵＲ団地前道路線形について

ＵＲ団地前直線（緑色）　歩道幅員　歩道幅員3.0m～5.3m

ＵＲ団地前Ｒ=2500～3000の曲線（赤色）　歩道幅員3.0m～4.0m

⇒公園面積がＵＲ団地前の300m 幅約1.3m　296.9m2増